

再生医療 1年で32人治療

釧路孝仁会
記念
専用HPで情報提供

釧路市の釧路孝仁会記念病院（齋藤孝次理事長、原田英之院長・232床）は、患者本人から採取した幹細胞を使用する再生医療を本格的に開始して1年が経過。これまでに脳梗塞、アトピー性皮膚炎、変形性膝関節症、脊髄損傷の患者ら32人を治療した。

同病院では、2007

年の開設時から細胞培養施設を置き、国に定められた安全管理体制を構築し、「細胞培養加工施設」を厚生労働省に届け出、同時に幹細胞の培養技術を導入。

全国で48施設、道内では北大と同病院の2施設のみという同省の「特定認定再生医療等委員会」の認定を受けている。

平成29年7月21日（金）

北海道医療新聞 4面

再生医療を幅広く理解してもらいたいと、専用ホームページをリニューアル。各種治療の解説や、治療を受けた患者のインタビュー記事などを掲載している。